



GOOD NEWS とぎのこえ

War Cry

3月号

福音版
2023
March
No.2848

二〇二三年 三月一日発行

明治二十八年創刊

福音版・毎月一日発行 広報版・奇数月十五日発行 (除く七月)

支えられて生きる

徳永 幸次郎

「わたし」が生きていることに、どれほど多くの不思議があり、どれほど多くの人の支えがあるかを考えると、生きていることはそれ自体が感動です。わたしもそれを実感できるようになったことを感謝しています。

それまでは病氣どころか、日常生活でもほとんど不調を感じたことがなかったわたしは、五年前、当時余命十三カ月と言われていた難病、全身性アミロイドーシスになりました。(昨年九月に亡くなったアントニオ猪木さんも同じ病気でした。)そして、三年前の冬には、「来年の桜は見られないので、家族は最後の準備を」と医師に告げられました。家族だけでなく周りの方々にもお知らせしておいたほうがよいと思い、信仰の友人たちにもこのことを知らせたところ、たくさんの方々が大変心配してわたしのために熱心に祈ってくださいました。

桜の季節を前にした通院の日、不審そうに検査の結果を見ていた医師に、「何かしましたか?」と尋ねられました。劇的に改善した考えられない変化が表れていたのです。それまでと違う薬を飲んだわけでもなく、変わったことをしたのでもなく、心当たりといえ、多くの人がわたしを支えるために祈ってくださいました。としかありません。あの日以来、桜を見ると、どれほど多くの方々に支えられて生きているのだろうかという感動を覚えます。

人が生きていくためにはたくさんの人の支えが必要です。世界中には、たくさん人の助けを必要としている人々がいます。救世軍では毎年この時期に克己週間募金運動をおこない、世界中の助けを必要としている人々のニーズに応えます。社会福祉、医療、教育、地域開発、災害被災者支援、難民支援の働きがなされています。また、エイズ対策プログラム、人身取引対策、貧困対策を進め、開発途上国では、職業訓練、識字教育、衛生教育などによる自立支援をおこなっています。一人ひとりが、たくさんの人に支えられて生かされていることを感謝して、この

運動に加わりたいと思います。また、より多くの人が加わることで、さらにお互いを支え合う働きとなれば幸いです。

この働きの根本には、今から二千年前、わたしたちのために命を献げてくださったキリストがおられます。神の御子イエス・キリストは、罪の暗闇の中で苦しむわたしたちを救うために、すべての人の身代わりとして十字架にかかり、命を献げてくださいました。神の前に出る時、誰一人として自分は全く正しいと言いつけることはできません。

では、どうなのか。わたしたちには優れた点があるのでしょうか。全くありません。既に指摘したように、ユダヤ人もギリシア人も皆、罪の下にあるのです。次のように書いてあるとおりです。

「正しい者はいない。一人もいない。」(ローマの信徒への手紙3章9、10節)

キリストはその正しくないわたしたちを救うためにご自身を献げてくださったのです。誰でも、わたしたちを罪から救うために来てくださったイエスを信じる時に、新しい命を与えられます。

義とされ、口で公に言い表して救われるのです。(ローマの信徒への手紙10章10節)

わたしたちのために命を与えてくださったキリストを思う時に、わたしたちもまたお互いのために与える者分ち合う者、支え合う者となりたくて願うようになるのです。わたしたちを愛し、命を与えてくださったイエスを信じる時に、わたしたちも神の愛を知り、人を支え、人に支えられて生きる人生を歩むようになるのです。

わたしたちの周りには、支えを必要としている人がいます。わたしも誰かに支えてもらう必要があります。わたしたちの人生を全面的に支えてくださるイエスを信じて、お互いに支え合って生きる、感謝と感動に溢れた人生を歩みたいと思います。

美しい桜の季節、今年も支えられていることを感謝したいと思います。今年の桜に皆さんはどのような感動を覚えられますでしょうか? 人生を力強く支えてくださるイエスを中心に、お互いに支え合う恵みの時となりますようにお祈りいたします。

実際に、人は心で信じて

実際に、人は心で信じて

実際に、人は心で信じて

実際に、人は心で信じて

(救世軍士官(伝道者))

創立者 ウィリアム・ブース 大将 ブライアン・ペドル (万国本営 英国ロンドン) 日本司令官 スティーブン・モーリス (救世軍本営 東京都千代田区)



世界をみつめて

〈日本〉社会鍋による支援

昨年末の社会鍋募金に多くのご協力をいただき、ありがとうございました。社会鍋に寄せられた資金を用いての支援活動が各地でおこなわれています。

札幌小隊では1月に、NPO法人独立支援事業所「ベトサダ」へ男性用下着セットをお届けしました。利用者の方や街頭生活の方々に使っていただきます。また、特定非営利活動法人生活相談サポートセンター「ホープ」にカップ麺とレトルト食品をお届けしました。生活困窮世帯への月2回のお弁当配布にお土産として配られます。



福岡小隊では、社会鍋資金を用いての生活困窮者への給食活動を、年間を

通しておこなっています。毎月第二月曜日、50人分を目安にお弁当、ペットボトルのお茶、カイロ(冬季)、タオル(夏季)、中古衣料品、歯ブラシやせっけんなどを配布しています。12月は43人、1月は54の方が利用されました。フードバンク福岡のご協力もいただき、保存のきく食料品も配布しています。50人を超えた場合には、パンやおにぎりをお渡ししています。



〈パキスタン〉ボーイズホームへのソーラーパネル設置

パキスタンの救世軍が運営するシローボーイズホームでは、建物の屋根にソーラーパネルを設置しました。パンデミックなどの世界情勢により、電気代が高くなっただけでなく、食料品や物資のコストも増していく中で、ソーラーパネルが設置されたことで、

このホームで暮らす子どもたちは、停電の心配をせずに勉強をすることができるようになりました。



〈アメリカ〉アメリカの「トップ100チャリティ」に選出される

アメリカの救世軍は昨年、『ザ・ノンプロフィット・タイムズ』誌と『フォーブス』誌が選ぶ「アメリカのトップ100チャリティ」のトップ5に入りました。アメリカの救世軍は、多くの寄付をいただいて全米で2,500万人の人々に様々な社会的支援を提供しています。



救世軍とは？ 心は神に 手は人に

救世軍は、英国ロンドンに国際本部を置く、世界133の国と地域で活動するプロテスタントのキリスト教会です。1865年、英国のメソジスト教会の牧師ウィリアム・ブースと妻カサリンによって始められ、東ロンドンのスラム街で、家のない人々、アルコールの悪影響下にある人々、搾取される女性や子どもたちに助けの手を伸べつつ、神様の愛を伝えてきました。日本では1895(明治28)年に英国から士官(伝道者)たちが派遣されて活動が始まりました。

毎年春(3月、4月)には「克己週間」がおこなわれます。これは、イエス・キリストの十字架の死に心を向ける受難節の季節におこなわれる募金運動で、海外の救世軍での活

動を支えるために用いられます。寄せられた資金は、英国の国際本部を通して各国、各地域へ再配分されます。その枠組みの中で、日本の救世軍はインドネシアを含むいくつかの国の救世軍を支援しています。インドネシアの救世軍では、伝道とともに医療や社会福祉の働き、度重なる自然災害の被災者への支援活動などに力を注いでいます。救世軍は、それぞれの国や文化の中で、人々のニーズに応える働きを続けています。それらの働きの継続のため、今年もどうぞご協力をお願いいたします。

春の募金のお願い

2023 克己週間募金 - 海外支援
Self-Denial Appeal

募人も自分のように感じよう！
※2023年3月1日～4月15日(15日間)

期間 2023年 3月1日～15日 (15日間)

Terima kasih
ありがとう!

救世軍公報 ときのこえ
 発行日 福音版/毎月1日、広報版/奇数月15日(除く7月)
 定 価 福音版/1部40円、広報版/1部100円
 (税込) クリスマス特集号(12月1日号)/1部100円
 振 替 00180-5-4400
 発行兼 救世軍
 印刷人 代表者 スティーブン・モーリス
 編集人 山谷 真
 発行所 救世軍本営 <https://www.salvationarmy.or.jp>
 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17
 電話 03-3237-0881(代表)
 Mail jpn.editorial@jpn.salvationarmy.org
 印刷所 ピーアンドエス

聖書は新共同訳を使用しています ©共同訳聖書実行委員会 ©日本聖書協会 救世軍は、旧統一協会、エホバの証人、モルモン教ではありません。これらの問題でお悩みの方は、下記救世軍にご相談ください。

【取り扱い支部】

救世軍への連絡をご希望の方は、以下の項目及び住所氏名をご記入の上、救世軍本営(左記)、もしくは、上記救世軍にご連絡ください。

- ・私の近くの救世軍を紹介してください。
- ・キリスト教についてもっと知りたいです。
- ・『ときのこえ』の購読を申し込みます。
- ・相談を希望します。